

令和6年第2回苅田町議会定例会

町政報告



遠田町長は令和6年苅田町議会3月定例会開会日の2月26日、次のように町政報告を行いました。(文字数の関係で内容を一部省略しています)

1月1日に発生いたしました能登半島地震によりお亡くなりになられました方々に心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様、また、現在も避難生活を強いられている多くの皆様に対しまして心よりお見舞い申し上げます。

町といたしましては、役場本庁舎及び西部公民館に義援金箱を設置し、これまで多くの町民企業、団体の皆様から義援金が寄せられております。被災地の1日も早い復興を願い、この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、福岡県から、被災地である石川県穴水町への職員派遣要請があり、苅田町職員から1名の派遣を決定しました。3月5日から2週間程度、現地で支援業務に従事することになっております。今後も引き続き職員の派遣を行ってまいります。

トピック① 渇水の状況と対応

昨年8月以降、少雨傾向が続き、油木ダムの貯水率が1月10



▲貯水率の低下が進む油木ダム(1月5日撮影)

日時点で23.3%と過去2番目の低い貯水率であり、今後ともまとまった雨が期待できないことから、当日に渇水対策本部を設置し、広報車や町のホームページ、公式LINE等で町民の皆様へ節水と呼び掛けるとともに、大口需要者である企業や事業所を対象に、ポスターやチラシを配布し、節水への協力を依頼しました。

2月20日午前0時現在の貯水率は23.7%と依然厳しい状況です。皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、引き続き節水へのご理解・ご協力をお願いいたします。

トピック② 財政状況と当初予算案

自主財源の根幹をなす町税は、前年度より増収の見込みとなっておりますが、公共施設の老朽化対策や自立支援給付、少子高齢化に対応するための社会保障関係費の増加など、従来から山積する行政課題に加え、物価高騰や人件費の上昇といった新たな課題が生じ、これら行政課題への取組みとともに財政健全化を維持していくことが重要であると認識しております。

令和6年度の予算案は、これらの諸課題に対する施策を推進するため、一般会計予算案の総額は165億1705万3千円で、前年度と比較して10億8879万円の増額となっております。

まず、歳入について、町民税の個人分は定額減税の影響により、大幅な減収見込みとなっておりますが、町民税の法人分と固定資産税で増収を見込んでおり、全体では1億5831万円の増の87億7268万4千円を計上しております。

トピック③ 土地区画整理事業進捗

現在、与原地地区画整理事業につきましては、事業により整備される宅地のうち仮換地・保留地を合わせ約18.5万㎡、約66.5%の使用収益が開始されています。令和5年度末の工事進捗率は約78%となる見込みです。

トピック④ 苅田町ホームページリニューアル

苅田町公式ホームページが3月14日、13年ぶりにリニューアルします。新しいホームページは、利用者が見やすく使いやすく、親しみやすいものを目指し、トップページのデザインの変更や、誰もが読みやすいUIフォントの導入などを行っています。

今後も、ホームページや広報紙、LINEなどを活用し、さまざまな情報を迅速に、分かりやすく、町民の皆さんにお知らせしていきたいと考えています。

令和6年度予算案の概要

一般会計予算 165億1,705万円

※前年度比10億8,879万円増

予算の主な使い道

- 次世代を担う子どもたちへの投資
学校給食費の無償化など
- デジタル化の推進
LINEを活用した新サービスの提供など
- 健やかな地域社会の実現
こども家庭センターの設置など
- 安心安全なまちづくりの推進
次世代自動車購入補助事業など
- 快適な都市基盤の整備
南原殿川線道路整備事業など
- 活力ある産業・観光の振興
宿泊税交付金を活用した観光推進事業など

次に、歳出については、人件費が、会計年度任用職員への勤 hands支給開始などにより、前年度と比べて1億7913万6千円増の31億2907万9千円となっております。

また、扶助費が、私立保育園委託料や幼稚園施設型給付費負担金の増額などにより、前年度と比べて1億4588万6千円増の36億834万6千円となっております。

物件費については、苅田中学校仮設校舎借上料や物価高騰の影響などにより、3億1354万

円増の37億125万2千円となっております。

投資的経費については、苅田中学校長寿命化改修工事や公園設備新設改良工事に係る費用が増加したことにより、前年度と比べて、3億6726万円の19億6976万2千円となっております。

予算の主な内容としましては、「次世代を担う子どもたちへの投資」、「デジタル化の推進」、「健やかな地域社会の実現」、「安心安全なまちづくりの推進」、「快適な都市基盤の整備」、「活力ある産業・観光の振興」に注力した予算編成

を行っています。

「次世代を担う子どもたちへの投資」としましては、学校給食費の無償化や、苅田中学校長寿命化改修事業などを計上しています。

「デジタル化の推進」としましては地方公共団体情報システム標準化・共通化に対応するための経費や、LINE公式アカウントを活用した新サービスの提供に係る経費などを計上しています。

「健やかな地域社会の実現」としましては、こども家庭センターの設置や、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施に係る経費などを計上しています。

「安心安全なまちづくりの推進」としましては、次世代自動車購入補助事業や、消防団格納庫改修工事などを計上しています。

「快適な都市基盤の整備」としましては、南原殿川線道路整備事業や、公園設備新設改良事業などを計上しています。

「活力ある産業・観光の振興」としましては、農地流動化促進事業や、福岡県宿泊税交付金を活用した観光推進事業などを計上しています。